



【伊豆】 鳥おこしクラブ



【唐隈】 郷土芸能保存会



【小浜】 育成会



【山門野】 長島ひよとご会



【浦底】 鐘踊り保存会



【城川内】 郷土芸能保存会



【川床四公連】 川床婦人会



【指江】 育成会



【平尾】 種子島保存会



【鷹巣】 種子島踊り保存会

受け継がれる伝統

〜御八日踊りの由来〜

1565年3月24日、野田領主の島津忠謙が城川内の堂崎城主である天草越前正を攻め滅ぼし、島津領となりましたが、3カ月後の同年7月8日忠兼は、甥である出水領主島津義虎によって出水城で謀殺されました。その翌年、長島全土に悪疫が流行したため、島民は忠謙のたたりとして、その霊魂を鎮めるために、城川内集落にある若宮神社に忠謙の御霊を祀り、毎年命日である7月8日に踊りを奉納するようになりました。

今日では、新暦の8月8日に、長島最大の伝統行事として受け継がれています。



【蔵之元】 鐘踊り保存会

8月8日、本町の伝統行事である御八日踊りが町内の神社や各集落で奉納されました。今年には13地区15団体が参加し、強い日差しの下、色とりどりの衣装や飾りを身につけた踊

り手たちが、鉦や太鼓を力強く打ち鳴らし、それぞれの集落に伝わる手踊りや舞を披露。訪れた観客からは、盛大な拍手が送られていました。